

# 2026年3月期 第3四半期決算説明資料

(2025/04~2025/12)

TACHI-S CO.,LTD.

2026年2月12日



## 目次

- ▶ 1. 2026年3月期 第3四半期決算実績
- ▶ 2. 補足説明資料

## 目次

- ▶ 1. 2026年3月期 第3四半期決算実績
- ▶ 2. 補足説明資料

# 2026年3月期 第3四半期決算概要（連結）－前期比－

2026年3月期 第3四半期決算実績

単位：億円  
(億円未満切捨て)

	24/12	25/12	増減額	増減率(%)
売上高	2,181	1,947	-233	-10.7
営業利益	50	55	+5	+10.9
経常利益	55	71	+15	+28.4
親会社株主に帰属する当期純利益	51	51	-0	-0.7

## <26/03 第3四半期決算概況>

- ◆ 売上高は、主に先の中期計画TVE Wave0/1に係わる北米及び中国における事業再編の影響と日本・中国における販売台数の減少や、円換算時の為替（円高）影響により減収となりました。営業利益は継続して取り組んでいる収益改善及び中国の事業再編効果や北米での合理化により増益となりました。
- ◆ 経常利益は、事業再編の中で持分法適用会社の堅調な収益計上が主な増加要因となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前年度に計上した固定資産売却益の剥落の方、事業再編及び税効果により微減となりました。

# 業績変化の要因（連結）－前期比－

単位：億円  
(億円未満切捨て)

2026年3月期 第3四半期決算実績

2,181

## 売上高

## 地域別

2,181

## 圏別

為替レート 24/12 USD=¥152.27 RMB=¥20.99	25/12 USD=¥148.52 RMB=¥20.57
---	------------------------------------

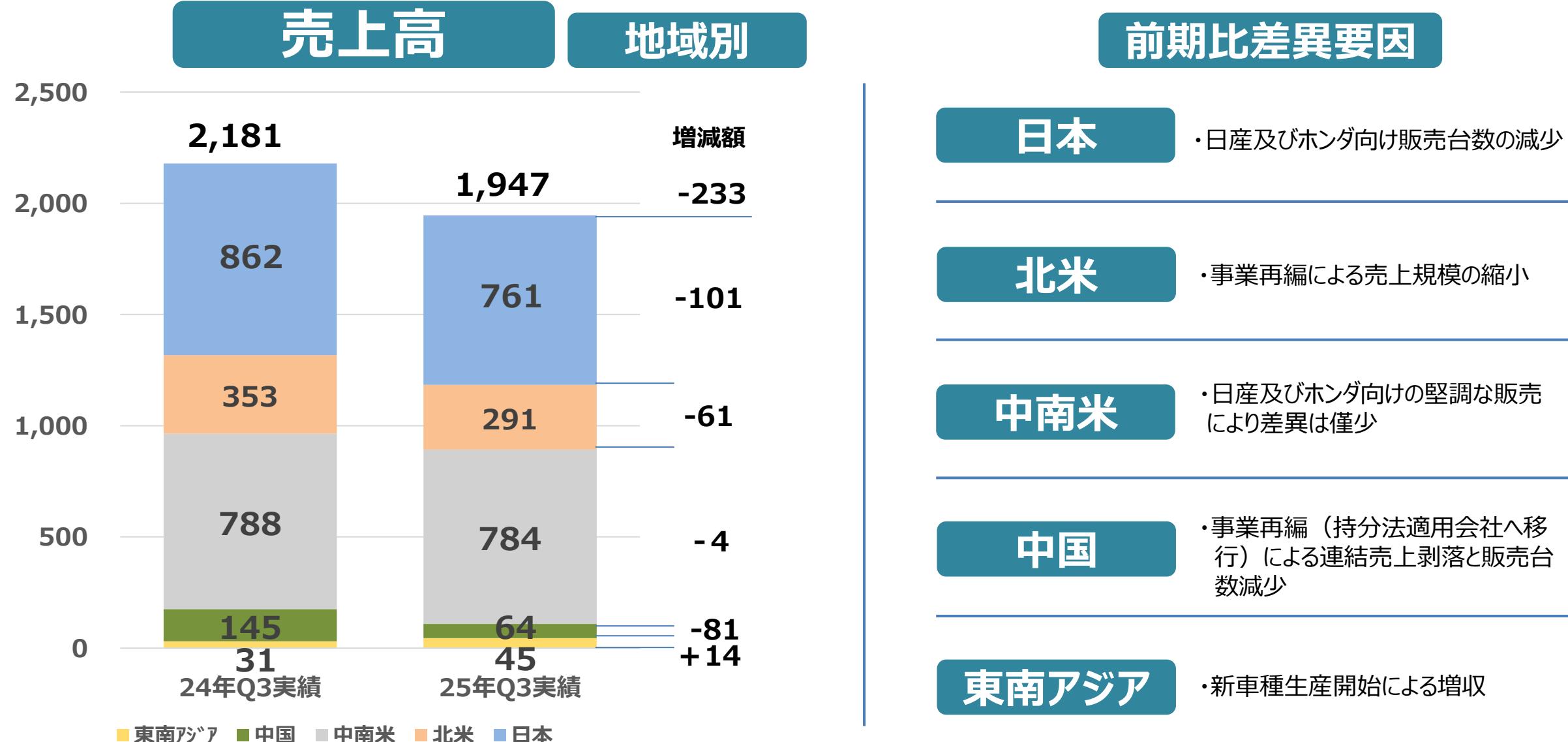
	地域	増減額	増減率
24年Q3	日本	-101	-11.7%
25年Q3	北米	-61	-17.4%
	中南米	-4	-0.6%
	中国	-81	-55.6%
	東南アジア	14	45.4%
合計		-233	-10.7%

	圏別	増減率
24年Q3	ホンダ圏	-4.9%
25年Q3	日産圏	-26.3%
	三菱圏	+8.3%
	トヨタ圏	+0.5%
	その他	-13.5%

# 業績変化の要因（連結）－前期比－

2026年3月期 第3四半期決算実績

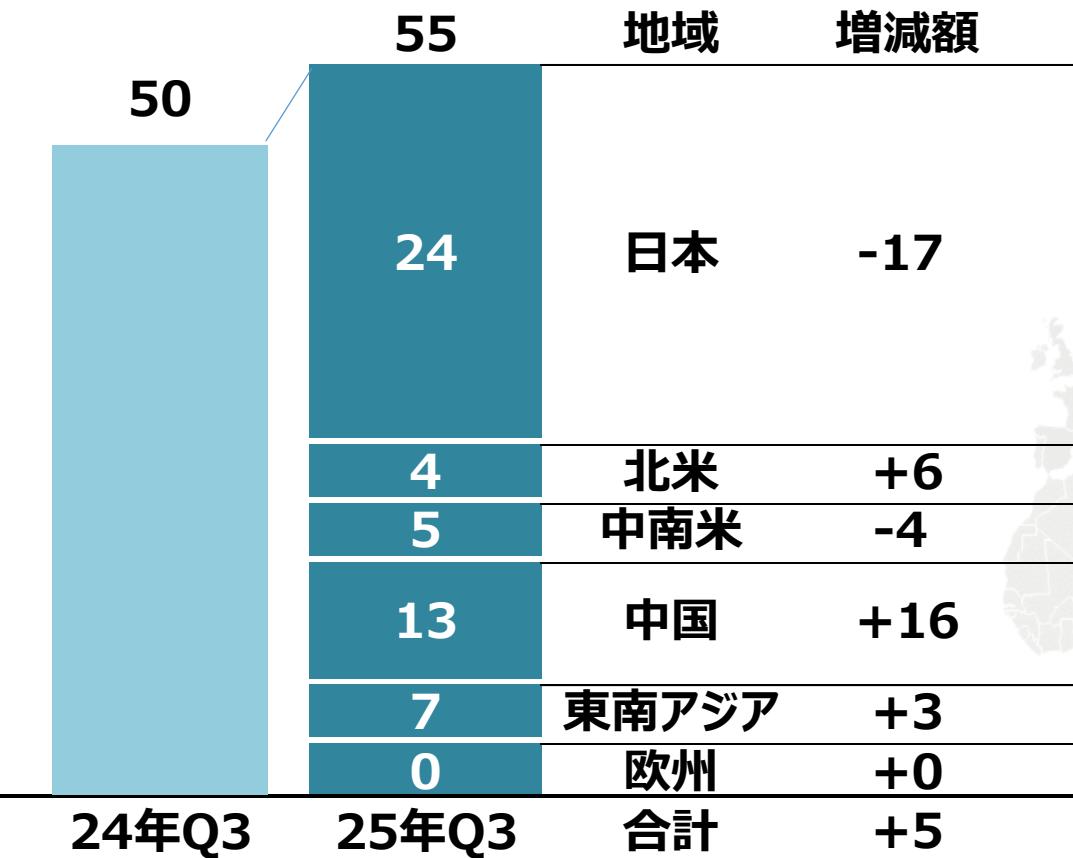
単位：億円  
(億円未満切捨て)



# 営業利益の増減要因分析（連結）－前期比－

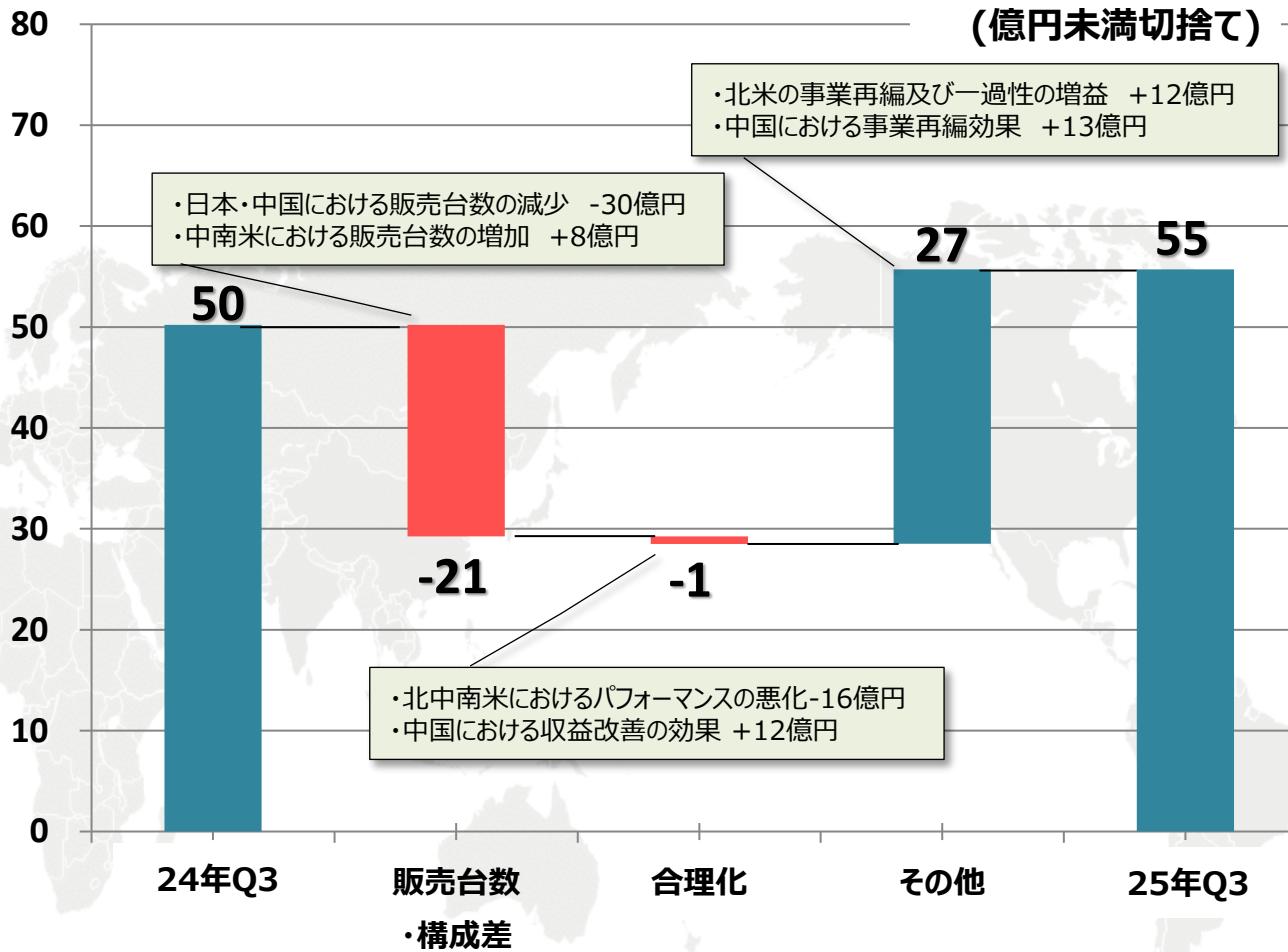
2026年3月期 第3四半期決算実績

## 営業利益



販売台数減少の中、収益改善及び事業再編効果により増益

単位：億円



# 営業利益の増減要因分析（連結）－前期比－ 主要地域別

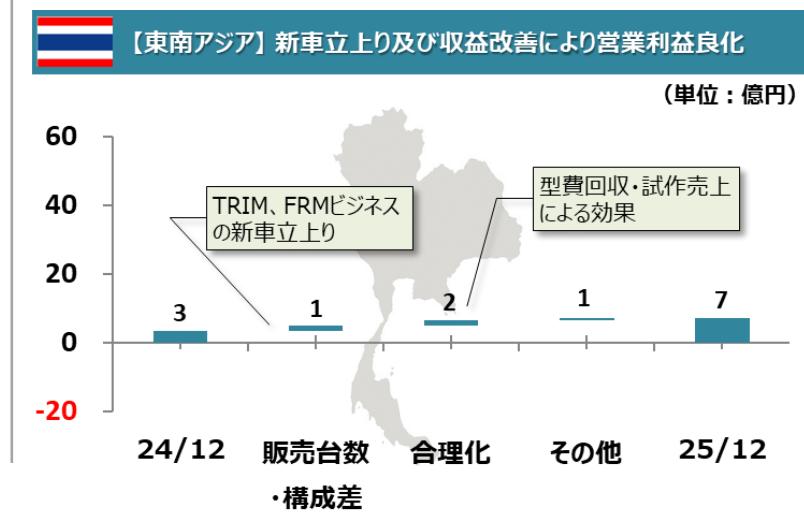
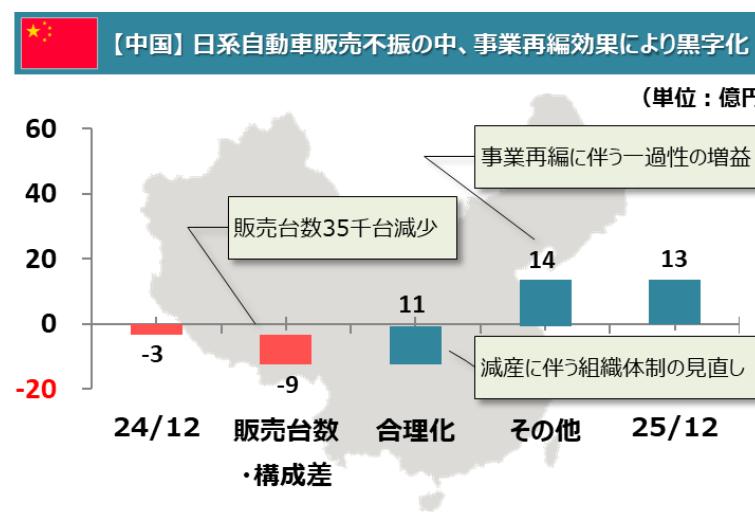
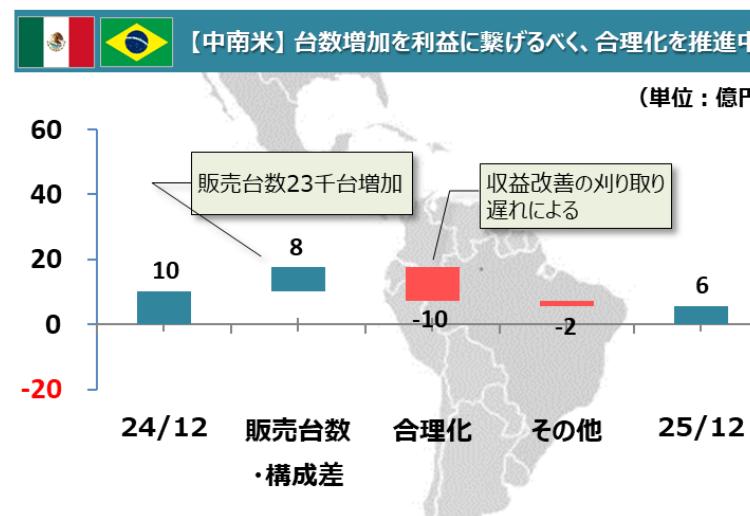
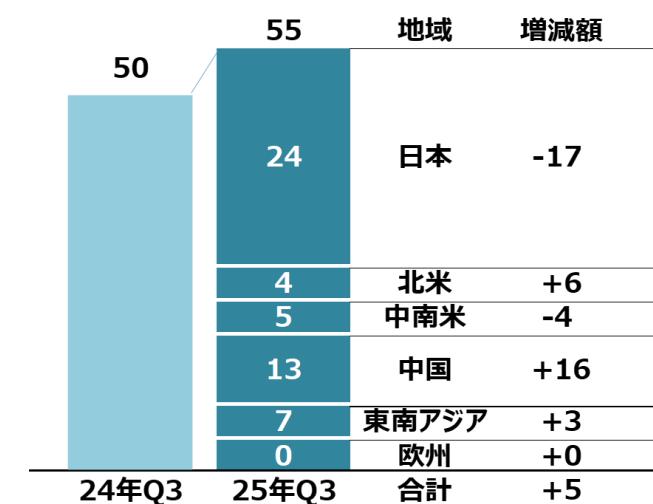
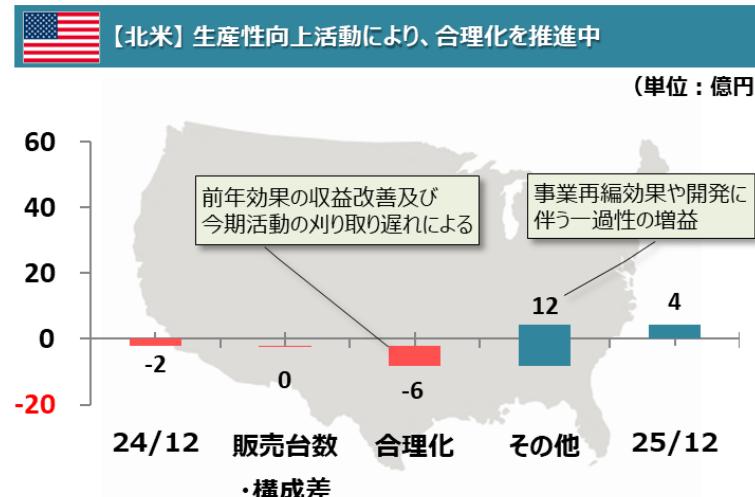
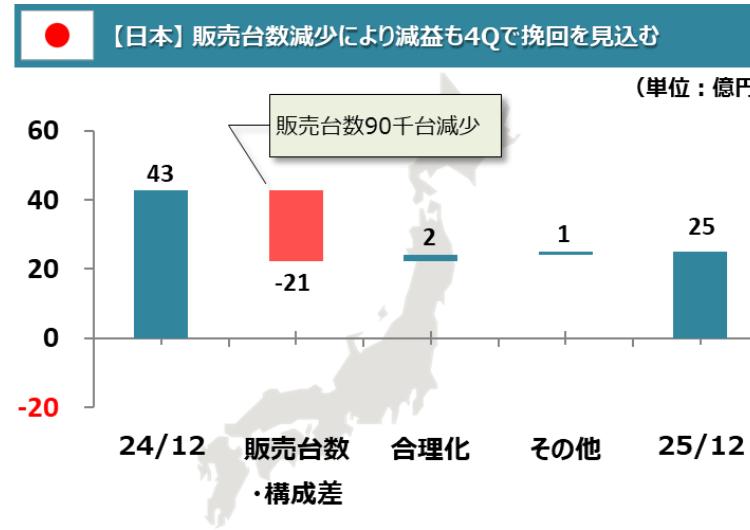
2026年3月期 第3四半期決算実績

## 営業利益

## 地域別

単位：億円

(億円未満切捨て)



親会社株主に帰属する  
当期純利益単位：億円  
(億円未満切捨て)

		地域	増減額
51	51		
	20	日本	-28
	4	北米	-11
	4	中南米	+16
	8	中国	+10
	6	東南アジア	+3
	6	持分法	+8
	0	欧州	+0
24年Q3	25年Q3	合計	0

親会社株主に帰属する当期純利益は、前年度に計上した固定資産売却益の剥落の一方、事業再編及び税効果により微減となりました。

## 目次

- ▶ 1. 2026年3月期 第3四半期決算実績
- ▶ 2. 補足説明資料

# 補足説明 1

## 半導体供給影響

### ● 当社影響

#### メキシコ

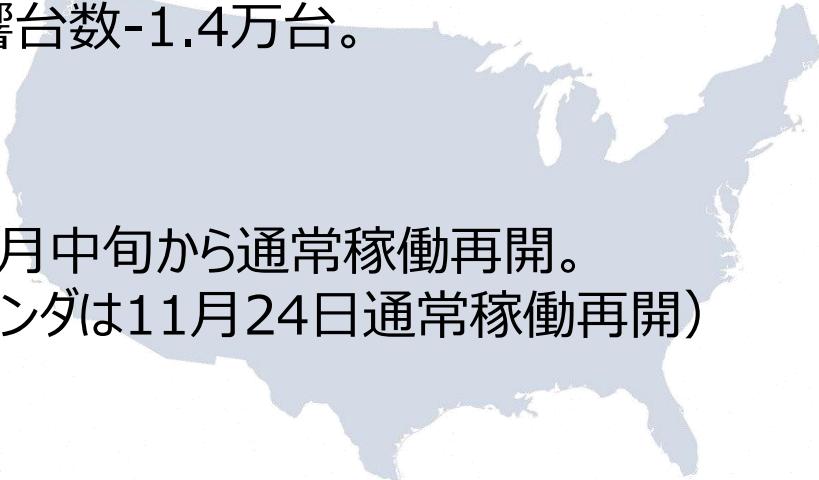
- ・2025年10月末から11月24日週まで生産停止。
- ・影響台数-1.6万台。



- ・11月24日週から生産再開、通常稼働。  
(ホンダは11月19日に生産再開)

#### 米国

- ・2025年10月末から合計 5 日間生産停止。
- ・影響台数-1.4万台。



- ・11月中旬から通常稼働再開。  
(ホンダは11月24日通常稼働再開)

## 補足説明 2

### トランプ関税

● **当社影響**：当社2025年度第2四半期決算説明資料報告時から大きな変化無し。

#### 第2四半期決算資料Remind

- ・ 日本や中国から米国向けの直接輸出は基本的になく、影響無し
- ・ メキシコから北米向けの部品輸出も全てUSMCA適合品の供給であり、関税影響無し



※メキシコによる対中国関税影響  
・对中国関税は一部の部品輸出入につき、影響は僅少。

USMCAの26年7月見直しに向けての政府間協議の状況を注視していく。

# 補足説明 3

## Re:Nissan

日産自動車が公表した閉鎖拠点は、メキシコ・シバック工場、追浜工場、日産車体湘南工場。メキシコ・COMPAS工場は生産終了、アルゼンチン・サンタ イザベル工場及びインド・チェンナイ工場は生産撤退、南アフリカ・ロスリン工場は資産譲渡を公表。

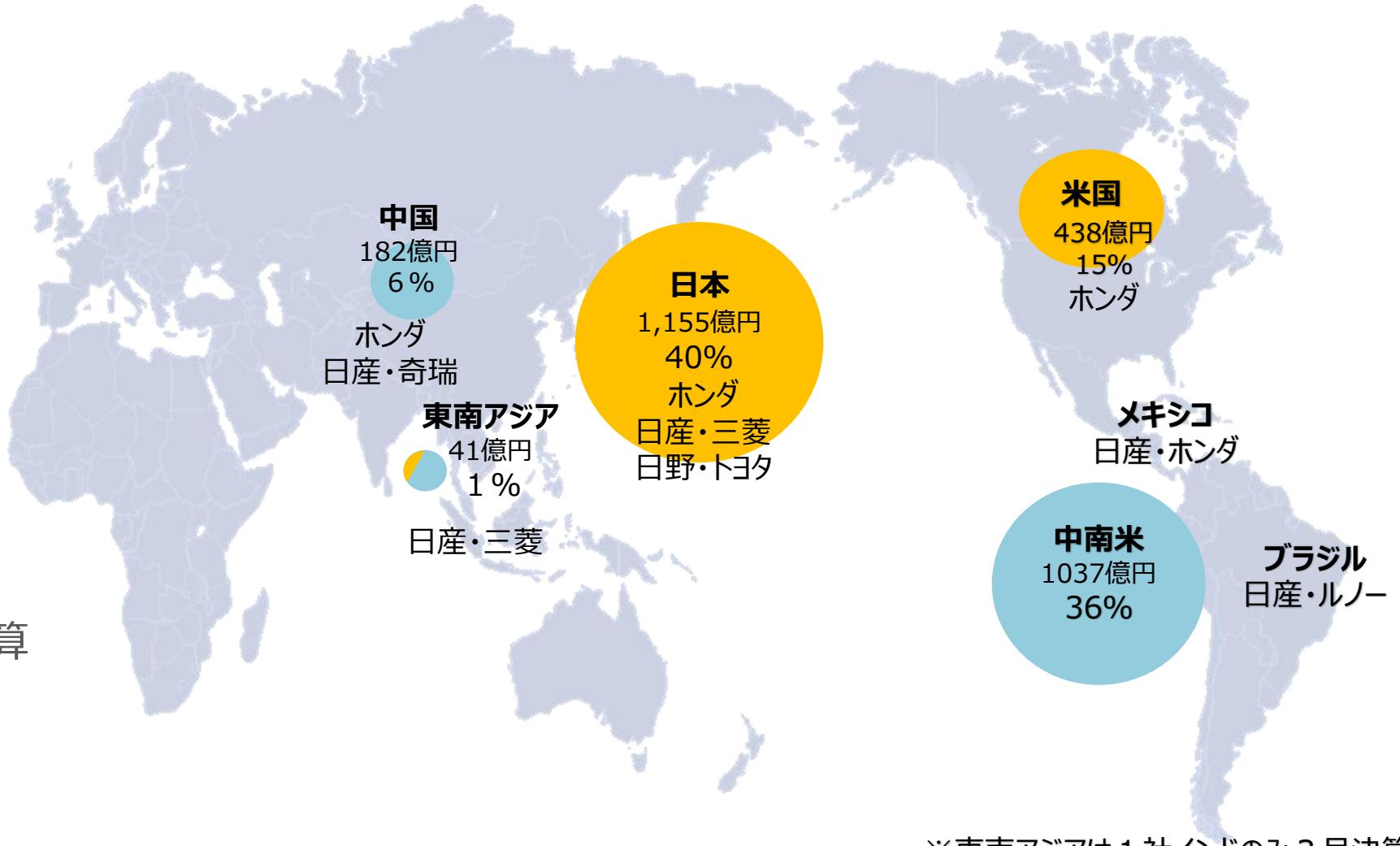
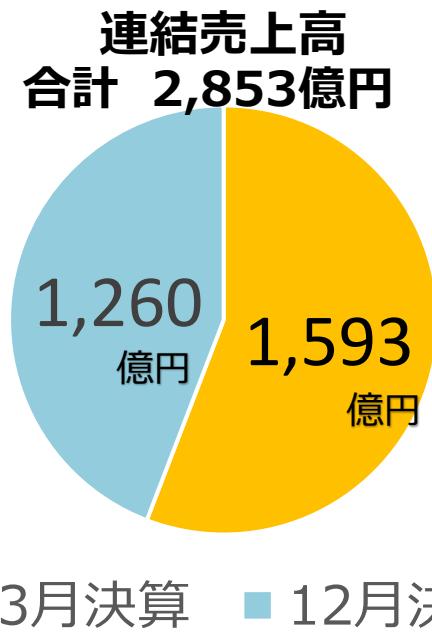
### ● 当社影響

- ・ 日産工場閉鎖が公表された 3 拠点は既に当社拠点はなく、影響なし
- ・ 生産終了、生産撤退、資産譲渡を公表された拠点についても当社拠点なし又は影響軽微

日産自動車工場 状況	タチエス拠点	当社の対応状況
メキシコ シバック工場 閉鎖	無	先の中計Wave0/1で当社近接工場を閉鎖済。(2022年)
日本 追浜工場 閉鎖	無	現行車FR FRM生産は閉鎖まで継続。(2028年3月)
日本 日産車体湘南工場 閉鎖	無	先の中計Wave0/1で平塚工場閉鎖済。(2020年)
メキシコ COMPAS工場 生産終了	有	生産車種の終了に伴い当社製品も納入終了。生産量僅少につき影響軽微。
アルゼンチン サンタ・イザベル工場 撤退	無	撤退に伴いメキシコからの部品供給も終了。部品量僅少につき影響軽微。
インド チェンナイ工場 撤退	無	当社ビジネスなし。
南アフリカ ロスリン工場 他社譲渡	無	当社ビジネスなし。

## 補足説明 – 事業会社情報 –

## 地域別決算期と売上高（2025年3月期 通期実績）



“座る”を追求し人と地球を支える



Global Seat System Creator

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来に関する見通しは、現時点  
で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、  
不確実性やリスクを含んでおります。

したがって、実際の結果は様々な要因によって見通しと異  
なる可能性がありうることをご了承下さい。